

2006 年度

科目名 ゼミナールⅠ	対象学科・学年 教育教福3回生	担当者 田中 孝治
授業テーマ 絵画制作を通し、自己実現力を高める。		
授業の概要と目標 ・絵画表現にある基本的な事柄について、実証的に研究を進める。絵画制作（主として油彩画）の実技実習を通し、自らの造形表現にある有能さを広げる。上手な「芸術作品」をつくる世界を求めるのではなく、心の豊かさを養う。造形による自己表現力を高め、4年次の卒業研究へとつながる基礎づくりを行う。 ・ゼミでの学習交流を通して、担任や学友との心の交流を深め、豊かな人間形成への礎を養う。		
評価方法 ①毎回の出席、②研究態度、③学習成果、④絵画作品評価 等により総合的に行う。		
テキスト なし。	著者	出版社
参考書 適宜紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. ◆年間ゼミ学習計画と学生生活の設計（ゼミの研究課題、3回生の心得、教育実習関係事項など） 2. 「鉛筆画」（デッサンの基礎・基本） 3. 「鉛筆画」（石膏像を描く） 4. 「鉛筆画」（石膏像を描く） 5. 「バス画」（バス表現の基本） 6. 保育・造形表現の指導法、実習における実地研究の在り方 7. 図画工作科の指導法、実習における実地研究の在り方 8～11. 教育実習（実地研究） 造形表現の設定保育 図画工作科の学習指導 12. 教育実習の反省 13. 「バス画」（人物を描く） 14. 「バス画」（人物を描く） 15. 「油彩画」入門① 油彩画の材料・用具の点検とそれぞれの使い方 （特講）8月下旬 写生実習（2泊3日）バスによる「風景画」の制作 16. 「油彩画」入門②「色づくり・色塗り」遊び 17. 「静物を描く」技法① 基礎的な事柄 18. 「静物を描く」技法② 色づくり・混色 19. 「静物を描く」技法③ 濃淡・明暗・重ね塗り 20. 「静物を描く」技法④ 絵肌・調子・雰囲気 21. 静物画の相互鑑賞 用具の扱いと絵の仕上げ方（油彩画制作の過程を研究考察する） 22. 「油彩画の模写」① 各自、模写したい作品を選び、以下の「模写」④まで続ける 23. 「油彩画の模写」② 24. 「油彩画の模写」③ 25. 「油彩画の模写」④ 26. 「油彩画の創作」① 各自、テーマを決めて制作 27. 「油彩画の模写」② 仕上げは春季休業中の課題とする 28. ◆年間評価（相互鑑賞・相互評価） ※ 写生実習を授業2回に換算し、年間30回の授業とする。		